

THE KANSAI UNIVERSITY BULLETIN

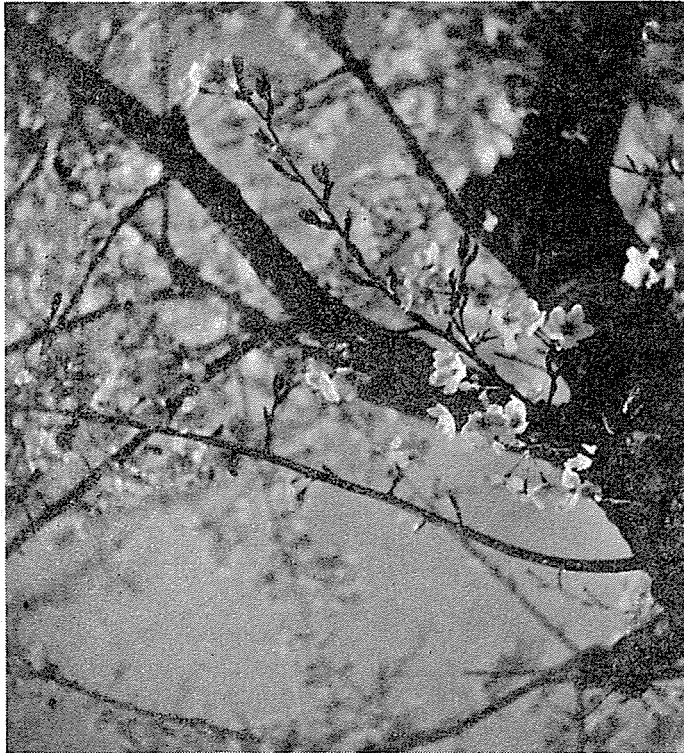
Osaka, April 15th, 1954. No. 268

關西大學學報

第 2 6 8 号

昭和 29 年 4 月

昭和二十六年十月十五日第三種郵便物認可
通卷第二六八号
昭和二十九年四月十五日發行（毎月一回十五日發行）



学 園 の 桜

關西大學學報局

海外留学生の派遣は、本学が新大令命による昇格当時、「全機能をあげて新生の奮みのために活潑な動作を開始」した大正四年岩崎卯一、原田鹿太郎両氏が欧米に派遣されてから昭和三年中村良之助、林太郎両氏が派遣されるまで幾多の人々が欧米に海外留学生として派遣されたことがあり、また教授を海外に派遣して欧米大学制度の視察と共に本学標語の一たる「大学の国際化」の実現に資するため、大正十一年水谷揆一教授、翌十二



年岩崎卯一教授が欧米に派遣されたことがあつた。(以上は關西大學五十年史第十節海外留学生による)

このたびは學術の研究又は調査のため海外に研究員を派遣することが定められ(学外研究員規定)、専任の教育職員で適當と認められた者が派遣されることになつた。研究員には内地研究員と在外研究員とがあり、また在外研究員には期間一ヶ年の在外學術研究員と半年間の在外視察

研究員とに分けられている。

昭和二十七年には在外視察研究員として文学部堀正人、経済学部矢口孝次郎両教授が昨年欧米に派遣されて先般帰朝し、最近経済学部森川太郎、法学部中谷敬壽両教授が相次いで出発した。

昭和二十八年度在外學術研究員として文学部廣瀬捨三、経済学部高木秀玄両教授は共に五月末又は六月初旬欧米に向つて派遣されることになつている。

昭和二十九年度学外研究員は去る三月十八日付を以て左の通り決定された。

- | | | | |
|---------|-------|-------|----|
| 在外視察研究員 | 文学部 | 上道 | 直夫 |
| 在外學術研究員 | 文学部 | 櫻田 | 誉 |
| 同 | 商学部 | 安田 | 信一 |
| 内地研究員 | 経済学部 | 中川庸太郎 | |
| 同 | 経済学部 | 鑄方 | 貞亮 |
| 同 | 文学部 | 吉永 | 登 |
| 同 | 法学部 | 植田 | 重正 |
| 同 | 短期大学部 | 佐伯 | 三郎 |

森川教授
アメリカへ

経済学部森川太郎教授は経済学研究並びに研究状況調査の目的で、四月二十一日午後零時半大阪駅発「はと」号で出発、同二十五日横浜より山春丸で渡米した。まづアメリカのハーヴァード大学行政大学院 (Harvard University Graduate School of Public Administration) で



研究後、イギリスに渡り、爾後スエーデン、ドイツ、フランス、イタリー等の各大学を歴訪する。

中谷教授渡歐

法学部中谷敬壽教授は法理学及び公法(憲法及び行政法)研究と実状調査のため、四月二十六日午後零時半大阪駅発「はと」号で出発、同二十八日羽田国際空港より一路イタリーに向つた。



イタリーのローマ大学より、スイス、ドイツ、オランダ、ベルギー、イギリス、フランス等の各大学を歴訪する。

堀、矢口両教授歸學

在外視察研究員として昨年七月出発した文学部堀正人教授は英文学研究のためイギリスに渡り、ケンブリッジ、オックスフォード両大学にて研究かたわら日本文化について講演を行い、アメリカを経由して本年二月帰朝。

同じく経済学部矢口孝次郎教授は経済史研究のため主として、イギリス、フランス、アメリカ等の大学で研究、本年一月帰朝した。

學 会 出 張

- ◇ 法学部中谷敬壽教授は四月十五日から十九日まで入学者等について打合の為東京へ出張
- ◇ 文学部末永雅雄教授は四月二十二日から二十七日まで早稲田大学における日本考古学協会第十三金総会に出席
- ◇ 法学部福島四郎教授は東京大学に於ける日本私法学会に出席
- ◇ 法学部長明石三郎教授は四月二十九日から五月四日迄東京諸大学を視察及び東京大学における日本私法学会に出席
- ◇ 法学部池田定太郎教授、岩本慧助教授は四月三十日から五月五日迄慶応大学に於ける経済法学会、東京大学に於ける日本私法学会、中央大学に於ける日本海法学会研究報告のため出張 (以下次号)



3月 (先)関大 0 0 0 0 1 0 0 0 0 2 1 3
 7日 久米 0 1 0 0 0 0 1 0 0 0 0 0 2
 B・S 球・場

3月 (先)関大 0 0 3 0 0 0 0 1 0 0 0 4
 8日 大牟田 2 0 1 0 0 0 0 2 0 0 A
 東洋高正 5 A 延命球場

3月 (先)関大 0 0 0 0 2 0 0 3 0 0 1 6
 9日 杵島炭鉱 4 0 0 0 0 0 0 0 0 0 4
 関大、吉村、大西、法元、池西

3月 (先)関大 1 0 2 4 0 2 0 0 0 0 9
 10日 住友小倉 0 0 0 2 0 0 0 0 2 0 4
 小倉 豊楽園

3月 (先)関大 1 0 0 2 3 4 0 2 0
 京大 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 2
 関大 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 2
 4月17日 京大 0 0 0 0 0 0 1 1 1 1 2
 (先)関大 1 0 0 2 3 4 0 2 0
 4月16日 京大 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 2
 関大 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 2
 4月24日 関大 3 0 1 0 2 0 0 2 A 8 2
 (先)関大 0 1 0 0 0 1 0 1 0 0 0 1
 立命 1 0 1 0 0 0 0 0 0 1 0 0 3
 4月25日 関大 0 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 1
 (先)立命 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1
 関大 0 0 1 0 0 0 3 2 1 A 7
 於森之宮

3月 (先)関大 0 0 0 2 0 0 3 0 1 6
 9日 杵島炭鉱 4 0 0 0 0 0 0 0 0 4
 関大、吉村、大西、法元、池西

3月 (先)関大 1 0 2 4 0 2 0 0 0 9
 10日 住友小倉 0 0 0 2 0 0 0 0 2 0 4
 小倉 豊楽園

3月 (先)関大 1 0 0 2 3 4 0 2 0
 京大 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 2
 関大 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 2
 4月17日 京大 0 0 0 0 0 0 1 1 1 1 2
 (先)関大 1 0 0 2 3 4 0 2 0
 4月16日 京大 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 2
 関大 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 2
 4月24日 関大 3 0 1 0 2 0 0 2 A 8 2
 (先)関大 0 1 0 0 0 1 0 1 0 0 0 1
 立命 1 0 1 0 0 0 0 0 0 1 0 0 3
 4月25日 関大 0 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 1
 (先)立命 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1
 関大 0 0 1 0 0 0 3 2 1 A 7
 於森之宮

3月 (先)関大 0 0 3 0 0 0 0 1 0 0 4
 8日 大牟田 2 0 1 0 0 0 0 2 0 0 A
 東洋高正 5 A 延命球場

3月 (先)関大 0 0 0 2 0 0 3 0 1 6
 9日 杵島炭鉱 4 0 0 0 0 0 0 0 0 4
 関大、吉村、大西、法元、池西

3月 (先)関大 1 0 2 4 0 2 0 0 0 9
 10日 住友小倉 0 0 0 2 0 0 0 0 2 0 4
 小倉 豊楽園

3月 (先)関大 1 0 0 2 3 4 0 2 0
 京大 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 2
 関大 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 2
 4月17日 京大 0 0 0 0 0 0 1 1 1 1 2
 (先)関大 1 0 0 2 3 4 0 2 0
 4月16日 京大 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 2
 関大 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 2
 4月24日 関大 3 0 1 0 2 0 0 2 A 8 2
 (先)関大 0 1 0 0 0 1 0 1 0 0 0 1
 立命 1 0 1 0 0 0 0 0 0 1 0 0 3
 4月25日 関大 0 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 1
 (先)立命 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1
 関大 0 0 1 0 0 0 3 2 1 A 7
 於森之宮

野球部 当部は、今春、高校球界での第一戦選手、鳥取西高校の香田を初めとして、二十数名の新人を加え、去月、チームの主軸である、レフト、大津、サード、桐田、ファースト、小林、センター、佐々木、ピッチャーの綱等々を送り出し、守備、打撃面でもスケールがぐんと小さくなったと思われていたが、シヨートの西村をセカンドに、ライトの小田をレフトに、西山にライト、センターに黒田を、サードに田代を入れ、ファーストには中村をとチームの構成は昨年と全然違つたものとなり、春の九州遠征では、五戦、四勝一敗の好成績で帰阪、

3月 (先)関大 0 0 0 0 1 0 0 0 0 2 1 3
 7日 久米 0 1 0 0 0 0 1 0 0 0 0 0 2
 B・S 球・場

レスリング部 渡米レスリングチームに参加している清谷は、三月二十四日全サンノゼ大学と対戦、ケン・スパクノラに敗れたが、三月二十五日サンノゼ・サニ・ペール・シスコ連合軍との一戦にジム・ホールを判定に敗つた。次いで一日から開かれた全米選手権、第二日目、ライト級に出場の清谷はA・ラースザールをフォールし敗り勝ち進んだ。

陸上競技部 昨年度、関西及西日本に活躍した陸上部は、三段、市跳の玉江、砲丸、円盤の指山を始め米岡等主力メンバーを送り出し、些か弱体化を免れないが市跳、三段の園田を中心として、今春は高校界のベストテンに入つている、十数人の新人を迎え入れ、強化練習に余念がない。

柔道部 関西学生柔道界で、関西学生柔道界に対抗出来る唯一の部として今後の活躍が期待される此の部は、三月堀田、林田等の闘將を卒業させたが今年(主将)永原、原田、菱山各三段を中心として、部の強化に連日努力を傾け、昨年に引き続き、関西を制覇し、全日本、東西対抗にも、関東を撃破する意気に燃え立っている。

サッカー部 昨年、数年振りに関西学生サッカーの王座にいた関学を一蹴し、関西選手権を獲得し、東西王座決定戦に関東の覇者、教大を、西宮に迎え、王座を争つてこれを破り王座を得たが、昨年度末、バックの三田、前川、品川、門石、ホツワードの木村等を送り出したが、新春と共に明星高のC・F佐々木を

始めとして、十余名の新年を加え、ドルトムントに日本チームの一員として参加した、寛を中心として、グラウンドで火の出るような練習を続けているので、本年も引き続き、関西及び東西王座戦に目覚ましい活躍をするものと期待されている。

軟式野球部 関西六大学軟式野球開幕、戦績は次の通り

4月10日 (先)関大 0 0 2 0 0 0 0 2 0 0 4
 阪大 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
 4月14日 (先)関大 0 0 3 0 0 0 0 4 0 0 7
 神大 0 4 0 0 1 0 0 0 0 0 5
 4月16日 (先)阪大 0 0 3 0 1 2 4 0 0 10
 関大 0 0 3 3 0 0 0 0 0 6
 於中モズ

アイスホッケー部 第四回対関学定期戦は四月十九日アサヒアリーナで行われたが、両軍シシーゲームの熱戦を展開、本学は遂に昨年の雪辱を遂げた。

4月19日 関大 5 (2-1-1) 3 関学 於アサヒ
 3 1 1 1 アリーナ

ボート部 第七回朝日レガッタにフォーに出場、第一日に同大を二艇身半で敗り、第二日準決勝で関東の日大と対戦、大いに頑張つたが僅か半艇身の僅差で敗れたが、本年ボート部の躍進が期待される。

美術部 学生美術界に常に活潑な動きを示している当部は、春の関西行動美術展にも松井、福井、矢島君等が出品。それと同時に学内でも、図書館で新人紹介小品展を開催した。



校友バツヂ

校 友

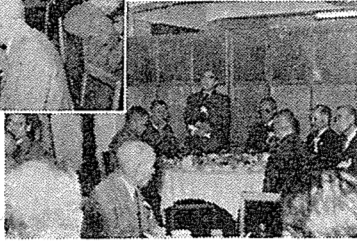
大阪支部春季総会

大阪支部春季総会は四月廿八日水午後六時より、東区久太郎町三丁目「船場東海クラブ」に於て開催、当日出席者は六十三名。

まづ中務支部長より支部の現況に付報告、新入会員十名の紹介に続いて、会員として大阪弁護士会々長に当選した大月伸氏及び同副会長の阿部甚吉氏に祝辞を述べ、白川理事長の祝電披露、母校七十



大阪支部
春季総会



周年拡充資金寄附並びに新制の校友会員章(バツヂ)の着用に協力方懇請した。引続き久井専務理事より母校の財政状態に關する話あつて満場拍手裡に、別記の通り出席者から熱誠溢るる多額の寄附申込を得た。次で晩餐会に移り閉会。

出席者

- 岩崎学長 久井専務理事 矢野常務監事
阿部 甚吉 安藤 一郎 秋山 剛
池田信之助 今里 達雄 石田 俊夫
梅原貞次郎 海野 円城 岡本 重治
織田佐代治 大石雄一郎 大月 伸
大島 武夫 尾崎 信夫 岡崎 重光
鎌田 嘉之 榎本 信雄 柏元 幸治
神屋敷民蔵 桂 忠雄 金本 朝一
岸本 芳夫 北原 元茂 園坂 敏
岸本 泰三 近藤 友房 吳 辰成
坂本 龍夫 酒井 彦一 下条小野右衛門
関 豊馬 田中 一郎 多賀谷 宏
高木 茂雄 辻見 重行 中村 公男
長柄 金吾 中務 平吉 中井 弥六
内藤 盛雄 野田 文夫 西本 寛一
橋田 豊吉 長谷川清一 平井 三朗
前田 軍治 松本芳太郎 町尾 静明
三好 万次 三木甚太郎 村尾 静明
森下 善雄 八木方太郎 大和 英雄
安井 章吾 保井 剛一 山影 静作
吉村 種藏 四辻 謙 和田 伝三

神戸関大クラブ主催 岩崎學長先生歡迎祝賀会開催

神戸関大クラブでは安井神戸地検検事正の提唱に依り岩崎先生の学長御就任歓迎祝賀会を三月六日午後六時より山手北京樓に於て開催。出席者は五十五名に達し母校よりは岩崎学長、白川理事長両先生を迎え、関西大学とは因縁浅からぬ関

係にあられる兵庫県知事岸田幸雄氏も特に臨席せられ、向井常務理事の開会の挨拶、山崎神戸関大クラブ理事長、安井檢事正、原田鹿太郎先生より夫々懐旧談を交えた懇話な祝辞あり、岩崎学長生より鄭重な答辞を述べられた。

今回神戸関大クラブの推薦により兵庫県会議員宗行源治氏に対し白川理事長先生より推薦校友の証書を満場拍手の裡に授与せられた。尙席上母校拡充資金募集の動議を出し多大の賛同を求めて寄附芳名録を廻した処早速多数の応募ありて相当額に上つた。



神戸関大クラブ

当日の出席者

岩崎学長

- 白川理事長 秋山 剛
安井 榮三 岸田 幸雄 山崎 敬毅
本本 信夫 原田鹿太郎 星野 正身
岡田 退一 角田好太郎 難波 方
向井 裕亮 山本 春治 橋本 太一
中藤幸太郎 尾林 義正 辻本 修
栗坂 諭 林 昌正 鈴木富太郎
小谷 守 斉藤 国臣 高橋猪久次
赤井 定雄 上田 保孝 吉田 正幸
西光 健次 貴客 喜作 照 繁造
氏林 清 渡辺 道男 田中 鐵特
米間 正孝 吉田 貞隆 李 相徳
尹 成国 塚本 勝 松尾 利治
井形 亮夫 榎本 昭 木内 博
岡野重三郎 和氣 安雄 牧野 秀夫
片山 勝 小川 立朝 大野 幸雄
松岡 行雄 豊島 孝次 野田 俊香
森山 洪雄 真垣 夏生 田村 光盛
河野 正敏 以上五十五名

(順序不同敬稱略)

尼崎支部總會

尼崎支部では二十八年度総会を二月六日(土)尼崎商工会議所講堂にて午後五時より開催、母校より岩崎学長、白川理事長、久井専務理事、森川理事(兼教授)を迎へ、会員四十名の出席を得て、新松尾支部長議長となり、会則の改正、新役員を選定の後、白川理事長、岩崎学長、久井専務理事、森川理事より夫々母校の七十週年記念に伴う拡充計画、大学経営の方針、将来の希望抱負等の報告説明あり、母校の発展に協力、支部の充実等を甲合せて盛大裡に終了した。



尾崎支部総会

支部新役員

支部長 松尾 高一
 副支部長 西村治三郎 須佐美八藏 山野田重治
 幹事長 浜本 正吉
 常任幹事 岩本 公夫 杉田 兵作 宮田 輝徳
 川井幸太郎 阪上 正巳 貴村 一雄
 近藤新次郎 西村 末治 市田 球造
 中塚 薫 辰馬役二郎 弓馬 晴男
 松永 三郎
 相談役 吉田吉太郎 飯国壮三郎
 向当日の出席者は左の通り(順不同略敬称)
 母次岡 岩崎学長 白川理事長 久井専務理事
 森川教授
 支部副 松尾 高一 西村治三郎



尾崎支部

- 須佐美八藏 山野田重治 浜本 正吉
 杉田 兵作 松永 三郎 吉田吉太郎
 宮田 輝徳 川井幸太郎 阪上 正巳
 弓馬 晴男 客藤 普 橋谷 弘
 貴村 一雄 勝間五十吉 須藤 克己
 泉 義三 中西 順吉 伊井 秀夫
 徳千代又一 柳栄 喜祐 山本 三郎
 岩井 清和 伊東 順一 水谷 茂
 杉尾 元義 西村 富夫 佐野 嘉彦
 菅野友太郎 麻生 一郎 中谷芳之介
 高垣 富吾 小泉 正雄 田中 芳夫
 向井 正 松島 章 前田 豊治
 金田 功 岩本 公夫

吳支部

去る二月二十七日吳支部の創立総会が、余会員二十五名中(二月現在)二十名出席のもとに開催され、会則審議に引続き役員として、支部長鍵尾豪雄、副支部長下原太郎、幹事東正実、浅野純一、山

本実、清水篤夫、鈴木剛の各氏が選任された。なほ当日は在吳校友の初会合のせいか、お互が在校中の思い出を懐かしうに語り合い、今後吳支部を盛り立てようという事で大いに気焔を挙げた。

続いて三月二十日午後五時半より吳市中通五丁目「雨月」で春季総会が開催され、当日の議案として、(一)、母校建設資金募集について、(二)、吳地方大学O・B野球大会参加については十月迄に各会員が支部へ分割納入し、吳支部が一括して本部へ送ることに決定した。次に吳地方大学O・B野球大会参加については関大スピリットを大いに發揮するために、是非参加しようということになり、早速運動部長として、在校中バスケット・ボールで活躍した鈴木幹事を選任し、チーム編成にかゝることになった。なほその他の件として支部事務所を幹事清水篤夫宅(吳市古川町五一)に置くことに決定した。

川邊支部

兵庫県川辺支部(伊丹・宝塚市を含む)幹事会は四月三日午後三時より伊丹市緑ヶ丘の池畔にある深川実(支部長)邸に於て開催。櫻花爛漫の下、宴席を設けて会合した者十五名。議題は春季総会開催の打合せ、母校七十周年記念拡充資金募集に関する件であつた。決定事項は左の通りである。

春季総会期日 五月五日(祭) 午後三時
 場所 島屋温泉旅館(宝塚市宝塚橋北詰)

幹事会出席者

- 深川 実 末永 甫 滝井 義男
 池田幸太郎 磯野 充賀 甲川 敏
 山口 正春 武田 謙 倉橋 貞一
 長田 千里 井上 久平 中平 忠
 伴 勇 深川 重義 安井 章吾

千里山昭八会

一月十三日午後五時半より大阪駅日本食堂特別室に於て第二十四回例会を開催、新春初の集りてに於てが差支の者が多くて出席は少なかつた。幹事より新年度の運営方針等について希望を述べた後、母校七十周年記念拡充資金の寄附について提案説明し全員の協力を求め懇談の結果、昭八会全員に呼びかけて協力することに甲合せ午後九時散会

当日の出席者

- 西田 春造 一瀬 義次 斎藤 正興
 多賀 恒一 野田 文雄 大島 武夫
 中家 利家 吉田 一郎 賀本 敏英
 宮地 正一 浦野健二郎 宮脇三郎
 中江 翼 平井 三朗

二月十二日午後六時より平野町「やを政」に於て第二十五回例会を開催、今回は幹事会を兼ねることとした、幹事会の主たる議題は母校創立七十周年記念拡充資金の募集について協議し、昭八会としてこの目標額並に勧誘の方法等について審議し幹事を中心に活動の第一歩に入ることを決定、午後九時半散会

当日の出席者

- 木下 忠夫 浦野健二郎 吉田 一郎
 大島 武夫 野田 文雄 中家 利國
 一瀬 義次 中山 謙一 多賀 恒一
 宮脇三郎 荒川虎一郎 平井 三朗

感謝録

別項記載の通り、母校創立七十周年記念拡充資金寄附を募集致しました処、その趣旨に御賛同下さいまして陸続左記の通り御寄附をいただきました。四月三十日迄に拝受しました御寄附者の芳名を爰に録し、謹んで感謝の意を表します

昭和二十九年四月三十日

学校法人 關西大學

關西大學七十周年記念

拡充資金寄附者芳名 (四)

昭和二十九年四月三十日現在 (順序不同、敬称略)

金貳百六万六百元也		教育後援会	
金貳拾万円也	石井 壽一(会長)	金參万円也	和田 政一
金拾万円也	市岡 保徳(副会長)	金參万円也	河合藤十郎
金拾万円也	片川徳三郎(副会長)	金參万円也	吉府喜四郎
金拾万円也	村上 千藏	金參万円也	横山 敏雄
金五万円也	畑末彌市郎(常任委員)	金參万円也	鶴田 武
金五万円也	千本 行応	金參万円也	国崎 裕
金五万円也	田辺 信	金參万円也	松岡 幸義
金五万円也	山下石太郎	金參万円也	藤森 贊樹
金五万円也	東田 繁雄	金參万円也	小池 十太郎
金五万円也	深田 敬憲	金參万円也	小西 彦四郎
金五万円也	山本 順応(幹事長)	金參万円也	寺沢 貞次郎
金五万円也	井上 晴次(委員)	金參万円也	北野 一雄
金五万円也	市口政太郎	金參万円也	木村 秀吉
金五万円也	馬場 静夫	金參万円也	今村 藤夫
金五万円也	淡田 政一	金參万円也	一色 良子
金五万円也	小崎 新一	金參万円也	大畑 猶彦
		金參万円也	吉岡 善一
		金參万円也	第新 秀一
		金參万円也	辻 敏則

關西大學擴充資金募集要項

- 一、予定金額 金五千万円
- 二、一口 金壹千円以上
- 三、御送金は銀行振込用紙を以て全国の左記關西大學取引銀行本・支店へ、或は振替貯金(大阪壹貳八七五番)又は御便利な方法で關西大學会計課宛御願ひ致します。
- 四、神戸銀行梅田支店・三和銀行天六支店・住友銀行天六支店・住友信託銀行本店
- 五、泉州銀行大阪支店・第一銀行梅田支店・大和銀行天六支店・帝國銀行天六支店
- 六、日本勲業銀行梅田支店・安田信託銀行大阪支店(送金先銀行五十音順)
- 七、〆切期日は一応昭和二十九年十月七日と予定致します。
- 八、寄附者の氏名は、關西大學學報誌上に順次発表致します。

關西大學擴充資金募集は大藏大臣の承認した指定寄附金であります

今回大藏大臣より左記の通り、本学擴充資金募集の寄附金について、法人税法第九條第三項但書の規定に該当する寄附金としての承認を受けました。普通の寄附金であるが、法人税法第九條第三項本文によつて、法定限度を超過した場合、その超過額はその法人の損金に算入されないから、法人所得に加算の上、課税を受けることになるのですが、本学の募集する寄附金は法人税法第九條第三項但書の「指定寄附金」の承認を受けているので、寄附者である会社その他の法人は、その寄附金については金額の如何に拘らず、これを損金として認められますから税金の対象にはならないのです。この指定寄附金は昭和二十五年大藏省告示第五一〇号第三号昭和二十六年大藏省告示第五二二号に該当するもので左の通りになっています。

(寫) 藏稅第一八五〇号

昭和二十八年十月八日

学校法人 關西大學
理事 長 白川 朋吉殿

大藏大臣 小笠原三九郎

昭和二十八年九月二十二日附で願出があつた寄附金については法人税法第九條第三項但書の規定に該当する寄附金として承認する。

近頃各種の寄附金募集が多いのですが、折角好意ある御寄附をした会社はこれを損金として経理処理しているのを、税務署では損金否認して利益加算し課税を受ける例は多いのですが、本学は前述の如く大藏大臣の承認した「指定寄附金」でありますから、損金を否認される心配はありません。何うぞこの点、特に御理解を賜りとう存じます。

金參万円也 大小島真三(教文學部) 金參万円也 高橋 盛孝(教文學部) 金參万円也 堀 正人(教文學部) 金參万円也 水谷 揆一(講師) 金參万円也 山田松太郎(教文學部) 金貳万円也 明石 三郎(教文學部) 金貳万円也 井上吉次郎(教文學部) 金貳万円也 榎本金次郎(教文學部) 金貳万円也 金子又兵衛(教文學部) 金貳万円也 川上 敬逸(教文學部) 金貳万円也 澤瀉 久孝(教文學部) 金貳万円也 島田 淇藏(教文學部) 金貳万円也 進藤清二郎(教文學部) 金貳万円也 末永 雅雄(教文學部) 金貳万円也 田中 熙(教文學部) 金貳万円也 中井 駿二(教文學部) 金貳万円也 廣瀬 捨三(教文學部) 金貳万円也 藤田進一郎(教文學部) 金貳万円也 三木 治(教文學部) 金貳万円也 吉永 登(教文學部) 金壹万五千円也 小野 勇(教文學部) 金壹万五千円也 原 弘二郎(教文學部)

金壹万五千円也 横田 健一(教文學部) 金壹万五千円也 中 義勝(助教學部) 金壹万貳千円也 石浜純太郎(教文學部) 金壹万貳千円也 壺井 義正(教文學部) 金壹万貳千円也 福本喜之助(教文學部) 金壹万円也 佐伯 三郎(短期大學部) 金壹万円也 廣岡 英雄(教文學部) 金壹万円也 見次 直雄(教文學部) 金壹万円也 渡辺宗太郎(教文學部) 金壹万円也 藤本 是(助教學部) 金壹万円也 三上 諸穂(助教學部) 金壹万円也 山本栄一郎(助教學部) 金壹万円也 秋山 博愛(專任講師) 金壹万円也 鈴木 祥藏(專任講師) 金七千円也 寛田 知義(助教學部) 金七千円也 川口 勇(助教學部) 金參千円也 大西 昭男(專任講師) 金六拾貳万六千五百円也 昭 六 会 内 訳(才一、四回合計額) 金貳拾万円也 古田 龍雄 有賀 司郎(才一回、三回合計額) 金壹万円也 清水 安義 金壹万円也 吉橋 鐸美 金壹万円也 西口権四郎 金五千円也 川西 武治

金五千円也 入江 寅一 金五千円也 梶田 順造 金五千円也 後藤 幸重 金五千円也 笠井 信夫 金四拾壹万五千円也 十 期 会 内 訳(才一回、四回合計額) 金貳万円也 東稔 頼義(才一、二回合計額) 金壹万円也 川澄 秋一 金五千円也 岡田 退一 金五千円也 前田 静夫 金貳拾壹万貳千円也 神戸支部 内 訳(才一、二回合計額) 金壹万円也 向井 祥亮(昭10大法) 金七千円也 安井 栄三(昭7專法) 金四千円也 小谷 正治(篤志家) 金貳千円也 吉田 正幸(昭11專商) 金壹千円也 瀬郷 清一(昭8大法) 金壹千円也 井沢 國雄(昭21大法) 金貳拾万四千円也 川辺支部 内 訳(第一回分) 金五万円也 小林 英次(昭8專二商) 金參万円也 深川 実(昭14專長法) 金貳万五千円也 安井 章吾(昭4專專) 金貳万円也 吉永 登(昭2專文) 金壹万円也 滝井 義男(昭15專法) 金壹万円也 池田幸太郎(昭6專法) 金壹万円也 深川 重義(昭37專法) 金壹万円也 北川喜八郎(十期会) 金壹万円也 藤原 龍太(推 薦) 金壹万円也 寺浦留三郎(昭10大法) 金參千円也 甲川 巖(昭7大法) 金參千円也 磯野 充賀(昭7專法)

金貳千円也 田口 正春(昭15專二法) 金貳千円也 倉橋 貞一(昭18專一經) 金貳千円也 武田 謙(昭16臨大經) 金貳千円也 富川竹治郎(昭15專法) 金壹千円也 伴 勇(昭28專二商) 金壹千円也 井上 久平(昭27專二經) 金壹千円也 長田 千里(昭6專法) 金壹千円也 松崎 友一(昭6專法) 金壹千円也 中平 忠(昭6專一法) 金貳拾万円也 勸業銀行梅田支店(才一、二回合計額) 金貳拾万円也 大和銀行天六支店(才一、二回合計額) 金九拾万円也 昭 七 会 内 訳(第一回分) 金五万円也 春原源太郎(評議員) 金五万円也 西尾専太郎(評議員) 金貳万円也 米田 恒二 金貳万円也 越智比古市 金貳万円也 藤原 忠義 金貳万円也 丸山喜三造 金壹万円也 吉木 由雄 金拾五万円也 五井 重一(昭15專英) 金拾万円也 朝日岡大会 内 訳 金壹万五千円也 近藤 政士(昭13專法) 金壹万円也 吉田三七雄(評議員) 金壹万円也 石渡 俊一(昭2大經) 金壹万円也 松葉徳三郎(評議員) 金五千円也 角谷市太郎(昭6專商) 金參千円也 新海 泰三(昭5大經) 金參千円也 酒井鶴之助(昭13專商)

關西大學七十周年記念

擴充資金寄附金芳名(二三)

昭和廿九年三月廿一日現在

一、篤志家の部

- 金壹封 岸田 幸雄(兵庫県知事)
- 金百萬元也 久大紡績株式会社
- 金百萬元也 阪名氏
- 金五拾萬元也 吉本興業株式会社
- 金拾萬元也 石原勝太郎
- 金五萬元也 吉川 淺吉
- 金參萬元也 匿名氏
- 金貳萬元也 富山 俊夫
- 金貳萬元也 牧野 武三
- 金貳萬元也 東田 繁雄
- 金壹萬元也 白井 利久
- 金貳千円也 北原 朱相 奎
- 金貳千円也 黒田 一雄
- 金壹千円也 鳥居 親之
- 金壹千円也 大森松太郎
- 金壹千円也 中辻 卯吉
- 金壹千円也 中江 秀実
- 金壹千円也 泓川 義文
- 計 金貳百七拾五万九千円也
- 二、關係業者の部
- 金四百万円也 竹中工務店(才一、二回)
- 金五拾万円也 近畿電気工事株式会社
- 金五拾万円也 歌雄伎壽司
- 金四拾五万円也 大阪城口研究所(才一、二回合計額)
- 金貳拾万円也 住友信託銀行
- 金拾万円也 大和銀行天六支店
- 金拾万円也 日本勧業銀行梅田支店
- 金拾万円也 万年社
- 金拾万円也 泉州銀行
- 金七万円也 ナニワ印刷所

- 金五万円也 日本機材工業株式会社
- 金貳万円也 日本家具製造株式会社
- 金壹万円也 佐々木豊写真館
- 金貳千円也 清水工業所
- 金壹千円也 垣津硝子店
- 金壹千円也 渡辺商店
- 金壹千円也 フロアー商会
- 計 金六百貳拾参万五千円也
- 三、校友会地方支部の部
- 金拾八万七千円也 神戸支部(才一回分)

内 訳

- 金壹封 岸田 幸雄(県知事)
- 金参万円也 原田鹿太郎(明43員)
- 金参万円也 山崎 敬義(大14員)
- 金壹万円也 難波 方
- 金壹万円也 橋本 太一(昭2專)
- 金壹万円也 橋本 僧夫(大7專)
- 金壹万円也 水木 又雄(推 薦)
- 金壹万円也 森 義弘(大15大)
- 金壹万円也 土井 龍男(昭4大)
- 金壹万円也 東耕 退一(昭9大)
- 金五千元也 岡田 春治(昭14專)
- 金五千元也 山本千代松(大14專)
- 金五千元也 水本 旨正(昭12大)
- 金参千円也 尾形 勝(昭21大)
- 金参千円也 片山 博(昭22大)
- 金参千円也 木内 博(昭10大)
- 金参千円也 中藤幸太郎(昭17大)
- 金参千円也 西光 健次(昭18大)
- 金参千円也 田中 紗燈(昭18專)
- 金貳千円也 渡辺 道男(昭12大)
- 金貳千円也 赤刎 正夫(昭26專)
- 金貳千円也 片山菊次郎(昭5專)
- 金貳千円也 宮信 重夫(昭9專)
- 金貳千円也 吉田 貞澄(昭5專)
- 金貳千円也 北京橋朱相奎(篤志家)

- 金貳千円也 黒田 一男(篤志家)
- 金壹千円也 鳥居 親之()
- 金壹千円也 大森松太郎()
- 金壹千円也 中辻 卯吉()
- 金壹千円也 泓川 義文()
- 金壹千円也 中江 秀実()
- 金壹千円也 林 義夫(昭11大)
- 金壹千円也 大野 幸雄(昭10大)
- 金壹千円也 松岡 行雄(大51專)
- 金壹千円也 高橋猪久次(大4大)
- 金壹千円也 島村猪之助(昭3專)
- 金壹千円也 山本 鎮郎(昭10專)
- 金壹千円也 貴答 喜作(昭7大)
- 金壹千円也 赤井 定雄(昭11大)
- 金壹千円也 塚本 勝(昭13大)
- 金壹千円也 榎本 昭(昭28專)
- 金壹千円也 高原 博(昭26專)
- 金壹千円也 野田 俊春(昭27專)
- 金壹千円也 小林 弘(昭9專)
- 金壹千円也 氏林 清(昭15大)
- 金壹千円也 田村 光嘉(昭13大)
- 金壹千円也 小川 立朝(昭15大)
- 金八万円也 東住吉支部(才一回分)
- 内 訳
- 金参万円也 関谷貫一郎(昭13大)
- 金貳万円也 米田 恒二(昭7大)
- 金壹万円也 松井 剛(推 薦)
- 金壹万円也 中石 清一(昭5大)
- 金五千元也 石原 孫一(明41專)
- 金五千元也 坪田 吾一(大15大商)
- 金壹万円也 鳥取支部(才一回分)
- 金壹万円也 眞沢 澄(昭8大)

- 金五万円也 堀畑 軒一
- 金貳万円也 長尾 昇
- 金貳万円也 嘉根 勘治
- 金貳万円也 齊藤 善三
- 金壹万円也 鳴尾芳太郎
- 金壹万円也 鳥尾 惠宜
- 金壹万円也 佐伯 三郎
- 金壹万円也 寺田 伴嗣
- 金壹万円也 楠井 文雄
- 金壹万円也 神木彦次郎
- 金壹万円也 有賀 司郎
- 金壹万円也 藤井 兵藏
- 金壹万円也 今井 憲夫
- 金壹万円也 谷 久男
- 金壹万円也 岡部 俊吉
- 金壹万円也 福原菊次郎
- 金壹万円也 門田 文三
- 金壹万円也 浅本 俊一
- 金壹万円也 喜多 由造
- 金壹万円也 朝倉 茂直
- 金壹万円也 川上 末一
- 金壹万円也 中村武一郎
- 金壹万円也 中谷 敬一
- 金壹万円也 吉川 俊彦
- 金壹万円也 上野 康夫
- 金壹万円也 日下 忠
- 金壹万円也 羽生 博
- 金五千元也 川越 智
- 金五千元也 中辻 淳
- 金五千元也 青野 昌平
- 金五千元也 奥川 武郎
- 金五千元也 矢寺 三郎
- 金参拾八万五千円也 十期会(才一回)
- 内 訳
- 金拾万円也 野間 秀泉
- 金七万円也 矢野 文雄(評議員)
- 金貳万円也 福岡 彰郎

金壹万円也	江里口春志(評議員)	金參万円也	藤原 龍太(推 薦)	金壹千円也	吉田 孝藏(昭27学二法)	赤坂 惠龍(明27 法)
金壹万円也	河内 兼三	金參万円也	乾 義雄(大6 專 法)	金壹千円也	和久田二郎(昭16大 經)	田中 実夫(昭8 專 二法)
金壹万円也	田中 壽藏	金參万円也	那 彪(昭28 專 法)	金壹千円也	住岡 藤一(昭14 專 二經)	中山 一義(昭13 專 二法)
金壹万円也	竹沢喜代治(評 議員)	金參万円也	平井 孝道(昭8 大 哲)	金壹千円也	楠田 寅三(昭5 專 法)	平田栄一郎(昭24 大 經)
金壹万円也	塚本 義昭	金七千五百円也	中村 定二(昭16 專 二法)	金壹千円也	中尾 宣雄(昭12 大 經)	栗木原臣一(昭16 專 二經)
金壹万円也	東稔 頼義	金五千円也	谷口 隆佳(大15 大 法)	金壹千円也	山脇 修(昭18 專 經)	尾上 圭一(昭16 專 二經)
金壹万円也	長谷川清一	金五千円也	藤高 豊作(明37 法)	金壹千円也	森 正十(昭26 学一政)	金谷 信助(昭27 学一經)
金壹万円也	松谷 連哉	金五千円也	新井忠二郎(昭19 大 法)	金壹千円也	後藤 正身(昭10 大 法)	今中 美己(昭10 專 二商)
金壹万円也	森下 善雄	金五千円也	大谷 松次(昭11 大 政)	金壹千円也	原田美都枝(昭26 学二國)	今中 茂(大13 專 二商)
金壹万円也	柳田 栄次	金五千円也	神吉 等(昭11 專 二商)	金壹千円也	小倉喜八郎(昭18 專 二商)	東田 憲二(大14 大 法)
金壹万円也	山中 輝司	金五千円也	遠藤 吉次(昭7 專 法)	金壹千円也	今仲三木雄(昭16 專 二商)	植田 猶雄(昭16 專 二法)
金壹万円也	永井 芳一	金参千円也	小山 幸男(昭10 大 法)	金壹千円也	平岡 巖(昭26 学二國)	才野木 義雄(昭12 專 二法)
金壹万円也	河合 中	金参千円也	川端 岬(昭16 專 法)	金壹千円也	佐野 広治(大6 專 法)	青木 久雄(昭27 学一法)
金壹万円也	北川喜八郎	金参千円也	高砂恒三郎(大13 專 法)	金壹千円也	藤田 啓夫(昭8 專 二法)	沢田養之助(昭16 專 二法)
金壹万円也	森 稔次	金参千円也	竹内 勳(大15 專 法)	金壹千円也	勝間五十吉(昭14 大 法)	中西 忠孝(昭6 專 二法)
金壹万円也	千原 清治	金参千円也	松嶋 章(昭21 大 經)	金壹千円也	大川原与一(昭9 專 二經)	服部 福次(昭6 專 二法)
金壹万円也	荻野 武男	金参千円也	岩見 一郎(昭26 学一商)	金壹千円也	伊藤 保(昭17 專 二經)	下阪 文夫(昭28 学一法)
金壹万円也	糸田川信勝	金参千円也	村田俊一郎(昭26 学一商)	金壹千円也	延広 一明(昭11 学一商)	徳弘 駒雄(昭8 大 法)
金壹万円也	柳丈太郎	金参千円也	安西 一郎(昭25 学一國)	金壹千円也	吉本 房造(昭10 專 一政)	竹内 俊郎(昭24 專 二法)
金壹万円也	戸田 清一	金参千円也	因野 昭(昭22 專 二商)	金壹千円也	山下 勇次(昭16 大 政)	山本 栄夫(專)
金壹万円也	壺島 栄	金参千円也	北村 学(昭14 專 二國)	金壹千円也	工藤 正義(昭24 大 政)	辻原 弘(昭13 專 二法)
金六万円也	四三会(才一回分)	金壹千円也	石丸 豊(大9 專 商)	金壹千円也	野村 功(昭14 大 商)	内海 利男(昭27 学二法)
内 訳		金壹千円也	小島 龍夫(昭26 学一國)	金壹千円也	河内 啓三(昭17 大 商)	早稻田 祐栄(昭27 学二法)
金参万円也	原 田 鹿太郎(評議員)	金壹千円也	大越 務(明37 法)	金壹千円也	鈴置 正雄(昭19 大 政)	野原 保(昭11 專 商)
金貳万円也	下条小野右衛門(評議員)	金壹千円也	広橋 正一(昭26 学一法)	金壹千円也	加藤 常雄(昭10 專 二商)	英 喜照(昭23 大 經)
金壹万円也	滝 川 堯	金壹千円也	深田 丈夫(昭14 大 法)	金壹千円也	木原 俊夫(昭18 專 商)	大和 宗一(昭29 学二法)
計 金九拾万五千円也		金壹千円也	松川 孟一(大11 專 法)	金壹千円也	山本 晴雄(昭27 学一商)	長尾 正弘(昭12 大 法)
五、職域会の部		金壹千円也	吉村 種藏(明30 法)	金壹千円也	半那 賢三(昭17 專 經)	仲 実(昭12 大 法)
金五万円也	兵庫県庁秀麗会(才一回分)	金壹千円也	和田 儒藏(昭8 大 法)	金壹千円也	松村 繁太郎(昭5 大 法)	津川 鑑一(昭6 專 經)
六、校友の部		金壹千円也	小林 鳳(昭25 学一法)	金壹千円也	塩田 昌一(昭12 專 二商)	田中三喜藏(明37 法)
金拾万円也	三好 万次(校友会副会 長4 專 法)	金壹千円也	高橋 文恵(昭8 專 二)	金壹千円也	小西 亮(昭26 学一法)	野村 剛(昭26 專 二法)
金五万円也	内田 蕊(昭2 大 商)	金壹千円也	小田 静男(昭16 監 專 二)	金壹千円也	植田 公彦(昭22 大 法)	計 金四拾壹万五千円也
金参万円也	水谷 揆一(推 薦)	金壹千円也	原田市之進(明39 法)	金壹千円也	岸本 秀雄(昭19 大 法)	七、教育後援会の部(才一三回合計額)
金貳万円也	田中 藤作(大10 專 法)	金壹千円也	不動 健治(大9 大 商)	金壹千円也	麻野正千代(昭28 学二法)	木村 秀吉
金壹万五千円也	松村源次郎(昭2 專 法)	金壹千円也	村岡 道久(昭18 專 二法)	金壹千円也	島田 信一(昭5 大 經)	平田奈良太郎
金壹万円也	寺浦留三郎(昭10 大 法)	金壹千円也	野口 茂樹(昭4 大 法)	金壹千円也	一瀬 泰男(昭28 学一商)	山本 宗治
		金壹千円也		金壹千円也		毛利 敬正
		金壹千円也		金壹千円也		服部 正夫

金参千円也 鈴木 八郎
 金参千円也 江尻 秀吉
 金参千円也 西村 誠一
 金参千円也 松本 誠一
 金参千円也 寺田 青之助
 金参千円也 柏原 信次
 金参千円也 岡清 一郎
 金参千円也 有坂 忠志
 金参千円也 井野 仙周
 金参千円也 今井 三次郎
 金武千円也 水谷 喜三男
 金武千円也 下山 二一
 金武千円也 川端 英吉
 金武千円也 真柄 英吉
 金武千円也 竹内 理一郎
 金武千円也 奥本 衛一
 金武千円也 井野 藤吉
 金武千円也 丁野 忠泰
 金武千円也 久保 岩男
 金武千円也 谷光 鶴一
 金武千円也 中尾 正義
 金武千円也 佐藤 一二
 金武千円也 勢志 久治郎
 金武千円也 石原 一雄
 金武千円也 東田 晋次郎
 金武千円也 金子 晋士
 金武千円也 中田 茂吉
 金武千円也 入福 金之助
 金武千円也 上田 啓次郎
 金武千円也 森岡 享二
 金武千五百円也 辰田 弁一
 金壹千円也 辻本 徳充
 金壹千円也 春名 卓次郎
 金壹千円也 藤井 貞朝
 金壹千円也 坊岡 敏郎
 金壹千円也 鍛冶 卜夕
 金壹千円也 岸本 好正
 金壹千円也 上農市三郎

金壹千円也 要 房行
 金壹千円也 野瀬 清
 金壹千円也 江南 留吉
 金壹千円也 増田 金一
 金壹千円也 竹原 金吾
 金壹千円也 木村 十三徳
 金壹千円也 満留 正夫
 金壹千円也 吉田 真次郎
 金壹千円也 角田 彌三兵衛
 金壹千円也 貞包 超雄
 金壹千円也 莊田 林造
 金壹千円也 松永 徳治
 金壹千円也 杉村 作太郎
 金壹千円也 馬場 四吉
 金壹千円也 岩原 寅次郎
 金壹千円也 竹中 安太
 金壹千円也 大城 勇造
 金壹千円也 高津 徳三
 金壹千円也 松原 やの
 金壹千円也 神谷 子ヲノ
 金壹千円也 平田 泰造
 金壹千円也 宮崎 八郎
 金壹千円也 吉川 錦治
 金壹千円也 山岡 哲志士
 金壹千円也 伊賀 本松
 金壹千円也 溝口 主雄
 金壹千円也 野村 富繁
 金壹千円也 佐藤 高夫
 金壹千円也 吉田 一雄
 金壹千円也 小林 喜六
 金壹千円也 西丸 一雄
 金壹千円也 松本 義男
 金壹千円也 阪本 輝太
 金壹千円也 中村 治郎
 金壹千円也 下川 茂
 金壹千円也 広瀬 芳太郎
 金壹千円也 岩田 公平
 中村 梅次郎

金壹千円也 山崎 誠
 金壹千円也 東ノ 績
 金壹千円也 小坂 与十郎
 金壹千円也 田ノ 岡吉次
 金壹千円也 多田 寛一
 金壹千円也 秦 正一
 金壹千円也 神保 源三
 金壹千円也 植 隆助
 金壹千円也 竹村 隆助
 金壹千円也 大津 武二
 金壹千円也 三好 ミトメ
 金壹千円也 公江 貞雄
 金壹千円也 伴 栄初
 金壹千円也 中谷 正由喜
 金壹千円也 小畑 甚三郎
 金壹千円也 藤本 勇雄
 金壹千円也 玉井 盤夫
 金壹千円也 牧野 壽
 金壹千円也 田中 清太郎
 金壹千円也 増田 喜市
 金壹千円也 平野 永二
 金壹千円也 吉田 克己
 金壹千円也 桑原 政一
 金壹千円也 亀有 健次
 金壹千円也 村井 清太郎
 金壹千円也 朝倉 佐一
 金壹千円也 秦 孝恒
 金壹千円也 大室 清
 金壹千円也 吉田 ヒサ子
 金壹千円也 英 喜久
 金壹千円也 太田 耕二郎
 金壹千円也 生田 幸作
 金壹千円也 青山 豊治郎
 金壹千円也 末岡 行孝
 金壹千円也 荒木 喜太郎
 新田 仲道

金壹千円也 越前屋 傳吉
 金壹千円也 梶原 靖和
 金壹百円也 高田 英次
 計 金拾九万六百元也
 八、學校法人関西大學の部
 金九拾五万円也 理事監事(男、二名)
 内 訳
 金貳拾万円也 白川 朋吉(理事 専長)
 金拾八万円也 久井 忠雄(専務理事)
 金拾万円也 岩崎 卯一(学長 理事)
 金七万円也 矢野 文雄(常務監事)
 金五万円也 木村 健助(理事)
 金五万円也 西本 寛一(理事)
 金五万円也 春原 源太郎(理事)
 金五万円也 宮島 綱男(理事)
 金五万円也 藤川 太郎(理事)
 金五万円也 西村 治三郎(監事)
 金五万円也 西尾 専太郎(理事)
 金四拾四万四千円也 評議員(男、二名)
 内 訳
 金五万円也 中務 平吉(評議員 専長)
 金五万円也 榎本 信雄(評議員 専長)
 金五万円也 武田 藏之助(評議員 専長)
 金五万円也 長柄 金吉(理事)
 金五万円也 桂 忠雄(理事)
 金参万円也 池田 徳之助(理事)
 金参万円也 原田 鹿太郎(理事)
 金参万円也 山崎 敬義(理事)
 金貳万円也 下条 小野行衛門(理事)
 金貳万円也 平井 三朗(理事)
 金壹万五千円也 三島 律夫(理事)
 金壹万円也 江里 口春志(理事)
 金壹万円也 竹沢 喜代治(理事)
 金壹万円也 中村 正雄(理事)
 金壹万円也 政井 武雄(理事)
 金壹万円也 矢口 家治(理事)
 金八千円也 四辻 詮(理事)
 金五千円也 下島 光教(理事)
 金壹千円也 藤野 春三(理事)

九、教育職員の部
金八万八千円也 第一高等學校(才一回分)

内 訳

金壹万円也	矢口 家治(校長)	金參千円也	佐藤 俊雄(教諭)	金壹万円也	山脇 智(天六 學生課)	金五千円也	上田彌三郎(庶務課)
金八千円也	四辻 義(教諭)	金參千円也	高橋 猛(教諭)	金壹万円也	山村 彰(千里山 學生課)	金五千円也	北岡終一郎(天六 教務課)
金五千円也	下島 光(教諭)	金參千円也	中野 貞作(教諭)	金壹万円也	天野 宗一(就 職 課)	金四千五百円也	原 幸作(會計課)
金五千円也	藤木栄次郎(教諭)	金貳千円也	吉富 二郎(教諭)	金壹万円也	吉田申一郎()	金四千五百円也	片岡權次郎(庶務課)
金五千円也	勝島 芳松(教諭)	金貳千円也	木村 昌三()	金壹万円也	川澄 秋一()	金四千五百円也	山路 貞藏(會計課)
金五千円也	川村 善助()	金貳千円也	清水 邦郎()	金壹万円也	城内 俊直()	金四千五百円也	大沢寬治郎(千里山 圖書館)
金五千円也	佐々木康雄()	金貳千円也	岩倉 猛利()	金壹万円也	山口 辰男(天六 教務課)	金參千五百円也	鈴木 得稔(會計課)
金五千円也	原 雄次郎()	金貳千円也	幼稚園	金壹万円也	山江 巽()	金參千五百円也	那司 英雄(庶務課)
金五千円也	平田 善明()	金貳千円也	金壹千円也	金壹万円也	秋山 剛(友 課)	金參千五百円也	穴田 元治(庶務課)
金五千円也	長谷川雅樹()	金貳千円也	橋田千代子()	金壹万円也	松本 弘(天六 學生課)	金參千五百円也	田村 桂一(庶務課)
金五千円也	黒岩 博()	金貳千円也	金九拾八万円也	金壹万円也	松本 浩志(法文 教務課)	金參千五百円也	増田 実(庶務課)
金五千円也	馬渡権兵衛()	内 訳	金參万五千元也	金壹万円也	藤田 繁一(法文 教務課)	金參千五百円也	伊藤 保(千里山 圖書館)
金五千円也	奥村 二郎()	金參万五千元也	桂 忠雄(庶務課)	金壹万円也	文雄()	金參千五百円也	中村 富夫(天六 圖書館)
金五千円也	富田恭二()	金貳万五千元也	池田信之助(法文 教務課)	金壹万円也	赤松 陸玄(二高 圖書館)	金參千五百円也	藤本 龍造()
金五千円也	半井 清()	金貳万五千元也	安井 章百(友 課)	金壹万円也	山本 景造(天六 學生課)	金參千五百円也	渡辺 五郎(千里山 圖書館)
金五千円也	堀江 藤晶()	金貳万五千元也	土橋 四三(天六 教務課)	金壹万円也	羽野 堅二(出版 課)	金參千五百円也	松本 俊(庶務課)
金五千円也	栗駒 正和()	金貳万五千元也	天野敬太郎(千里山 圖書館)	金壹万円也	大山 綱憲(千里山 圖書館)	金參千五百円也	植村憲三郎(會計課)
金五千円也	中小路泰夫()	金貳万五千元也	平井 三朗(庶務課)	金壹万円也	松本長右衛門(會計課)	金參千五百円也	杉原 常彦(秘書課)
金五千円也	渡辺加多二()	金貳万五千元也	齋藤 善三(天六 學生課)	金壹万円也	村上 仙三(庶務 課)	金參千五百円也	小島 妙子()
金五千円也	西岡 宸()	金貳万五千元也	鈴木 末広(天六 教務課)	金壹万円也	阪本銀之助(管 課)	金參千五百円也	八尾 芳子()
金七万八千円也	第一中学校	金貳万五千元也	田中 一郎(秘書 課)	金壹万円也	岡田 武司(秘書 課)	金參千五百円也	藤屋 静枝()
内 訳		金貳万五千元也	且 菊男(二高 教務課)	金壹万円也	辻見 重行()	金參千五百円也	大浜 永子(庶務 課)
金壹万五千元也	三島 律夫(校長)	金貳万五千元也	田中治良大夫(天六 學生課)	金壹万円也	金田 雅一()	金參千五百円也	磯矢 健吉(庶務 課)
金壹万円也	政井 武(教諭)	金貳万五千元也	鐵井 良男(千里山 學生課)	金壹万円也	山景 耕作()	金參千五百円也	河野ツヤ子()
金五千円也	岡持敬次郎(教諭)	金貳万五千元也	水野 治(法文 教務課)	金壹万円也	横山 茂昭(天六 學生課)	金參千五百円也	下村松次郎()
金五千円也	小林 清太()	金貳万五千元也	水野 一郎(法文 教務課)	金壹万円也	出水 泰祐(千里山 學生課)	金參千五百円也	田中總代治()
金五千円也	富永 敬夫()	金貳万五千元也	後藤 壽昭(二高 教務課)	金壹万円也	塩崎 務(厚 生 課)	金參千五百円也	四井庄太郎()
金五千円也	原田 勇()	金貳万五千元也	徳田誠一郎(大学院 教務課)	金壹万円也	西尾 康()	金參千五百円也	廣田美壽子(天六 學生課)
金五千円也	吉川 秀義()	金壹万円也	水野 三郎(秘書 教務課)	金壹万円也	林三(天六 教務課)	金參千五百円也	清子()
金四千円也	古川 多()	金壹万円也	齋藤 政信(庶務 課)	金壹万円也	野原 博(二高 會計 課)	金參千五百円也	横田 文子(千里山 學生課)
金參千円也	市田彌一郎()	金壹万円也	中山 敏(天六 學生 課)	金壹万円也	野瀬 義雄(法文 教務課)	金參千五百円也	古志 祐一(就 職 課)
		金壹万円也		金壹万円也	義男()	金參千五百円也	石橋 直造(天六 教務課)
				金壹万円也		金參千五百円也	安宅 雅夫()
				金壹万円也		金參千五百円也	大浦 まさ()
				金壹万円也		金參千五百円也	山野 幾松()

十、事務職員の部

内 訳

金參千円也	佐藤 俊雄(教諭)	金壹千円也	伊藤 保(千里山 圖書館)
金參千円也	高橋 猛(教諭)	金壹千円也	中村 富夫(天六 圖書館)
金參千円也	中野 貞作(教諭)	金壹千円也	藤本 龍造()
金貳千円也	吉富 二郎(教諭)	金壹千円也	渡辺 五郎(千里山 圖書館)
金貳千円也	木村 昌三()	金壹千円也	松本 俊(庶務課)
金貳千円也	清水 邦郎()	金壹千円也	植村憲三郎(會計課)
金貳千円也	岩倉 猛利()	金壹千円也	杉原 常彦(秘書課)
金四千円也	幼稚園	金壹千円也	小島 妙子()
内 訳		金壹千円也	八尾 芳子()
金壹千円也	渡辺百合子(保 婦)	金壹千円也	藤屋 静枝()
金壹千円也	小林 和子()	金壹千円也	大浜 永子(庶務 課)
金壹千円也	荒木 道子()	金壹千円也	磯矢 健吉(庶務 課)
金壹千円也	橋田千代子()	金壹千円也	河野ツヤ子()
内 訳		金壹千円也	下村松次郎()
金參万五千元也	桂 忠雄(庶務課)	金壹千円也	田中總代治()
金貳万五千元也	池田信之助(法文 教務課)	金壹千円也	廣田美壽子(天六 學生課)
金貳万五千元也	安井 章百(友 課)	金壹千円也	清子()
金貳万五千元也	土橋 四三(天六 教務課)	金壹千円也	横田 文子(千里山 學生課)
金貳万五千元也	天野敬太郎(千里山 圖書館)	金壹千円也	古志 祐一(就 職 課)
金貳万五千元也	平井 三朗(庶務課)	金壹千円也	石橋 直造(天六 教務課)
金貳万五千元也	齋藤 善三(天六 學生課)	金壹千円也	大浦 まさ()
金貳万五千元也	鈴木 末広(天六 教務課)	金壹千円也	山野 幾松()
金貳万五千元也	田中 一郎(秘書 課)	金壹千円也	
金貳万五千元也	且 菊男(二高 教務課)	金壹千円也	
金貳万五千元也	田中治良大夫(天六 學生課)	金壹千円也	
金貳万五千元也	鐵井 良男(千里山 學生課)	金壹千円也	
金貳万五千元也	水野 治(法文 教務課)	金壹千円也	
金貳万五千元也	水野 一郎(法文 教務課)	金壹千円也	
金壹万五千元也	後藤 壽昭(二高 教務課)	金壹千円也	
金壹万五千元也	徳田誠一郎(大学院 教務課)	金壹千円也	
金壹万五千元也	水野 三郎(秘書 教務課)	金壹千円也	
金壹万五千元也	齋藤 政信(庶務 課)	金壹千円也	
金壹万五千元也	中山 敏(天六 學生 課)	金壹千円也	

関西大学創立七十周年記念 拡充資金募集趣意書

わが関西大学は、明治十九年河内町の一隅に、大阪に於ける唯一の法律学校として開校したのでありますが、爾來六十有余年校友先輩の苦心と不断の努力に依つて目覚ましい發展を遂げ、今や一万数千の学徒を擁する私学の雄として、自他共に許す一大学園となりました。其の間幾多の俊英を輩出して、文化の向上、国家社会の進運に大きな寄与をなしたことは、われわれの深く喜びとするところであります。学園發展のために尽瘁せられたそれらの先輩各位に対しては深甚の敬意と感謝を捧げずには居られません。

日本は、漸く独立国家として出発しましたが、国家の前途は甚だ多難であります。わが国は今後、文化国家として世界文化に貢献すべきであります、またそれによつて友邦の信に応えなければなりません、そのためには、教育の振興こそ最も緊要な問題であります。

本校は、大学の崇高な使命を自覚すると共に、歴史と伝統に立脚して、よくその声価を揚げて参りましたが、真理の討究、学の実化という理想に向つて、益々邁進したいと思ひます。本学が新学制に基き、各大学にさがけて、大学院を設置し、修士課程並びに博士課程を開講したのも要は、その意味において将来の飛躍的な發展を意図したからに外なりません。

本学は時代の趨勢に鑑み、曩に五ヶ年計画を樹て、諸施設の改善充実に着手致しました。千里山における大学院、大学ホール、経済学部 商学部教室の増築等はその一環として既に竣工しましたが、なお計画中の事業で、しかも緊急を要するものが種々残されて居ります。即ち、使用上すでに危険な状態にある、千里山法学部 文学部学舎の改築、二部学生を收容するための天六学舎の増築、学生に対する施設の一部として、千里山尚志館（学生食堂学友会部室）の増改築等ありますが、これらは逐次工事に着手し或は着手準備中であります。また教授研究室は、現在六十五室を有するに至つたのでありますが、その大部分は、臨時的なもので、更に近代設備を持つ研究室の新築を構想中であり、これらが竣工の暁には学園は全く面目を一新すると思ひます。

こうした外觀の整備と相俟つて、特に重要なものは、大学の真価を決する教授陣容の充実にあります。二十八会計年度においては教授十名、助

教授八名、専任講師五名、助手十七名の増員を予定しましたが、その大半はすでに補充致しました。

教職員待遇については、常にこれが改善に努め、本年度においても相当額の増俸を実施致しました。しかしなお現下の経済状態に即応すべき所期の目的を十分に達し得て居ないのを遺憾と致します。

教授陣容の充実に共に、研究用圖書の完備も大切であります、この点についても目下鋭意努力して居ります。

さて、上記の事柄は、いづれも緊急を要するもののみと考えられますが就中、学舎の増改築は、最早一日も遷延を許しませんので、これを早急に達成するため、昭和三十年度に創立七十周年を迎えるのを機会に、その記念事業の一部として実施することに致しました。しかも、建築費だけでも総額約三億円を要するのでありますが、戦後の経済的混乱により本大学法人の経理も、種々困難な事情を加えており、従つて事業遂行の資金は、止むを得ず関係者各位その他の御援助により御繰出を仰がねばならぬ実情にあります。

大学の生命は不朽であります、学園の生々發展を希うためには、各位の学園に寄せられる深い愛情と熱意に俟たねばなりません。翼くは、学園の繁栄を念願する各位の御賛同を請ひ、この七十周年記念事業の完成を期したいと思います。各位の御賛同により本事業完成の暁には、学園はさらに新たな基盤に立つて飛躍的な發展を期し得ることを信じます。何卒御協力の程切に願ひ上げます。

昭和二十八年十一月

関西大学学長 岩 崎 卯 一
関西大学理事長 白 川 朋 吉

創立七十周年記念事業学舎増改築概要

- 一、工事費総額約三億三千五百万円
- 二、工事概要
 - (一) 千里山法学部学舎改築(鉄筋コンクリート造)
 - 三階建 二千六百六十八坪 工費約二億六千四百万円
 - (二) 天六学舎増築(鉄筋コンクリート造)
 - 五階建 三百七十八坪 工費約三千万円
 - (三) 千里山尚志館増改築(木造)二階建 三百二十一坪 工費約六百万円
 - (四) 関西大学第一高等学校の千里山外苑への移転新築(一・二階鉄筋三階木造)三階建 七百八十五坪 工費約三千五百万円